

景観評価にみるシビックプライドの形成要因 — 景観に関する市民アンケート調査結果を対象として —

大分大学大学院 工学研究科 博士前期課程
工学専攻 建築・都市計画研究室
19E5014 古海 裕実子

第1章 序章 背景

社会の変化

少子高齢化

ライフスタイル
の変化

地域の課題が多様
市民が協働して、
まちづくりに取り組む必要

まちづくり活動参加の課題

地域における
愛着の希薄化

まちづくりの参加意欲
が得られない

ワークショップの参加など、**計画段階から
市民の参画**する事例も**増えてきた**

一方で、参加する市民は限定的であり、すべての市民が参加するのは難しい

第1章 序章 背景・目的

これらの課題に対し、**シビックプライド**(都市に対する市民の誇り)の醸成は対策の1つとして注目を集めている

参考文献・既往研究

参考文献1)

シビックプライドを形成する「市民とまちの接点」として、都市景観などの9つが挙げられている

引地ら2)の研究

地域に対する愛着の形成過程
(物理的環境)において、
景観が最も密接に関わる

景観に関する、市民の誇りの形成要因を明らかにした研究は確認できない

【研究の目的】

大分市を事例として景観の特徴と、景観にまつわる市民の誇りの形成要因を明らかにする

- 参考文献
- 1) 伊藤香織, その他著:住民がつくる「おしゃれなまち」—近郊都市におけるシビックプライドの醸成—, pp89-100, 公益財団法人日本都市センター, 2019年
 - 2) 引地博之・青木俊明・大淵憲一「地域に対する愛着の形成機構-物理的環境と社会的環境の影響-」
土木学会論文集D, Vol.65, No.2, pp101-110, 2009-4

第1章 序章 方法

第2章 KJ法による大分市の景観の分類

第3章 景観要素の分布傾向と景観形成の変遷を整理

第4章 大分市民が誇りとして認知する景観の傾向の把握

第5章 他都市との比較による誇りの形成要因の把握

大分市の景観の特徴

景観における
誇りの形成要因

【研究の方法】

2章 大分市景観計画から景観画像を抽出し、
KJ法により分類する

3章 分類した景観要素の分布傾向と景観形成の変遷を
整理する

4章 大分市民へのアンケート調査結果を用いて
「誇りに思う景観」と「回答者属性」の関係を
カイ2乗検定により分析する

関係がみられた属性について、
誇りに思う景観とのクロス集計を行う

5章 他都市と比較することで大分市の景観や
誇りの認知構造の特徴を明らかにする



図1. KJ法による分類の様子



図2. カテゴリー分けの様子

第2章 KJ法による大分市の景観の分類と特徴

16小グループ



歴史的要素や自然的要素に加え、「臨海工業地帯」「沿道の景観（産業道路や国道等）」等、1964年の新産業都市の指定以降に形成された**産業の転換や発展による景観**も特徴として抽出されている

佐賀関の漁村集落や、河川沿いの田園地帯など、**生業を象徴する景観**もあることが確認できた

第2章 KJ法による大分市の景観の分類と特徴

7カテゴリー

【歴史】

① 歴史的建築物・建造物 3/99件
②
③

④ 大分港付近の工場 2/99件
⑤

⑥ 佐賀関の漁村集落 7/99件
⑦

⑧ 海辺 4/99件
⑨
⑩

【臨海】

【景観の背景となる山】

⑪ 景観の背景となる山 (地形要素) 6/99件
⑫
⑬

⑭ 歴史的まち並み (城下町) 6/99件
⑮
⑯
⑰

⑱ 郊外の住宅団地 3/99件
⑲
⑳

㉑ 臨海工業地帯 3/99件
㉒
㉓

【新産業都市】

㉔ 河川沿いの田園地帯 6/99件
㉕
㉖

㉗ 歴史的まち並み (街道筋) 10/99件
㉘
㉙
㉚

㉛ 沿道景観 (産業道路や国道等) 8/99件
㉜
㉝
㉞
㉟

㊱ 臨海部の公園・広場 8/99件
㊲
㊳
㊴

【公園・広場】

【河川沿いの発展】

㊵ 河川・治水 7/99件
㊶
㊷
㊸

㊹ 歴史的まち並み (輪中) 9/99件
㊺
㊻
㊼

㊽ 中心市街地 9/99件
㊾
㊿
100

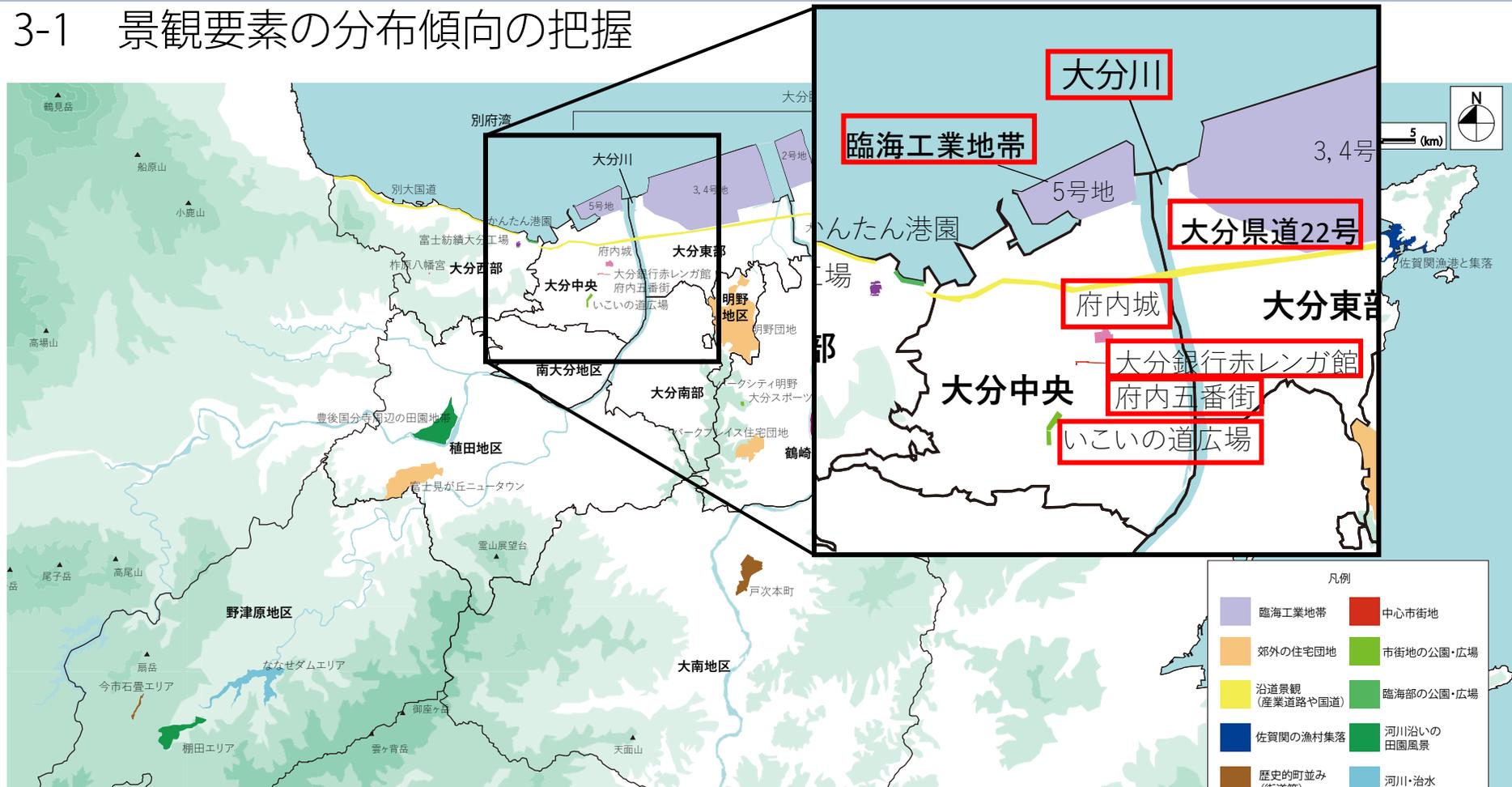
101 市街地の公園・広場 6/99件
102
103
104

【市街地形成】

「海辺」や「河川・治水」などの**自然要素を基壇**とし、
そこで育まれる漁村集落、輪中等の
「生業」や「くらし」に関する景観がある

第3章 景観要素の分布と変遷からみる景観の特徴

3-1 景観要素の分布傾向の把握



どの地区にも分類した景観要素が1種類以上分布しており、**多様な景観**が大分市に**広がっている**

大分市中心市街地がある「大分中央」は、16小グループのうち、7つが分布し、狭い地区の中でも**様々な景観**があることもわかった

第3章 景観要素の分布と変遷からみる景観の特徴

3-2 年表からみる大分市景観形成の変遷

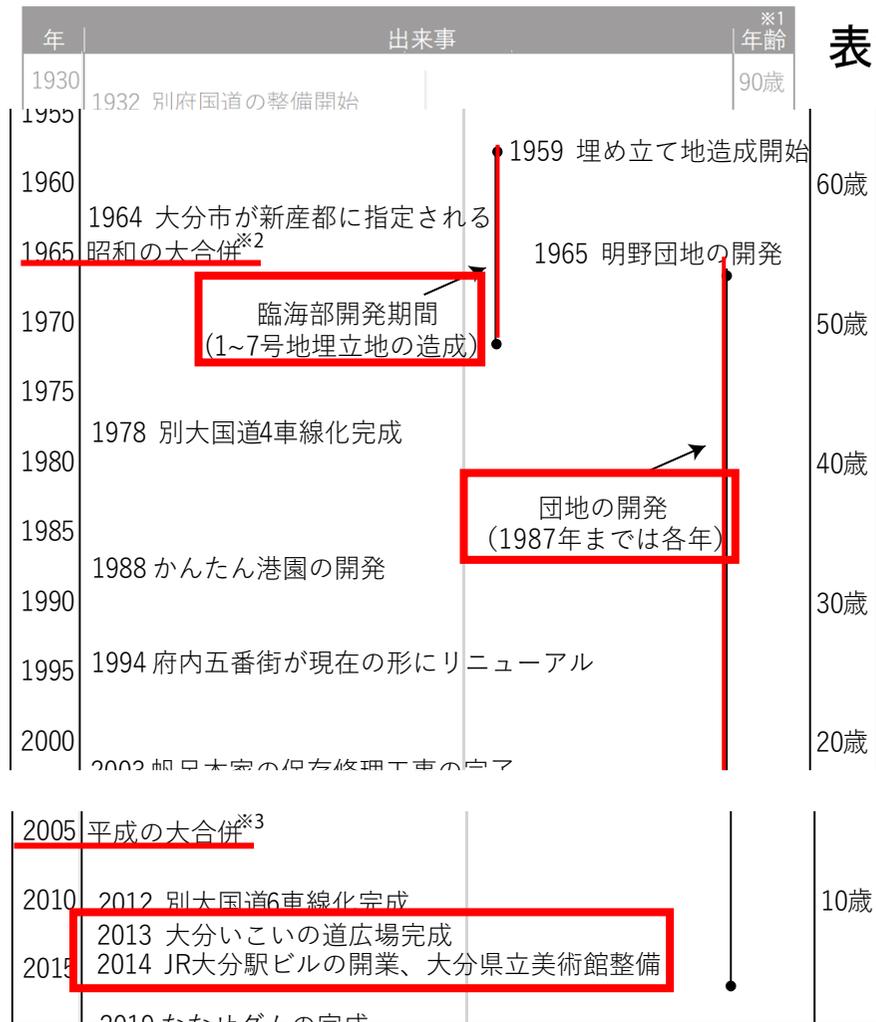


表3.大分市の景観の分類に基づく景観形成の変遷

1965年 昭和の大合併が行われた頃

1959年 **大分臨海工業地帯**の開発開始
1970年頃 完了

それに伴い

1965年-2015年 明野団地などの**団地**開発

2005年 平成の大合併が行われた後

2013年、2014年 **大分駅周辺**の開発

- ・ **臨海工場地帯**の景観は**50年前**から存在していることがわかる
- ・ **大分駅付近の開発**は近年行われており、
大分市民と接した期間としては他の景観要素より**短い**

※3 佐賀関町と野津原町が大分市に合併

第4章 住民が誇りとして認知する景観の傾向

4-1 回答者属性と誇りに思う景観の関係の把握

表4. アンケート調査概要と回答者属性の集計結果

調査時期	2018年10月29日-11月9日	サンプル数	配布数2478件中、有効回答数464件(回収率18.7%)
調査対象者	大分市民(無作為抽出2500人)	内容	大分市の景観に関する質問(全17問)
対象の質問項目	問3.あなたは、大分市のどのような景観に誇りを感じていますか(あてはまるものを5つ)		

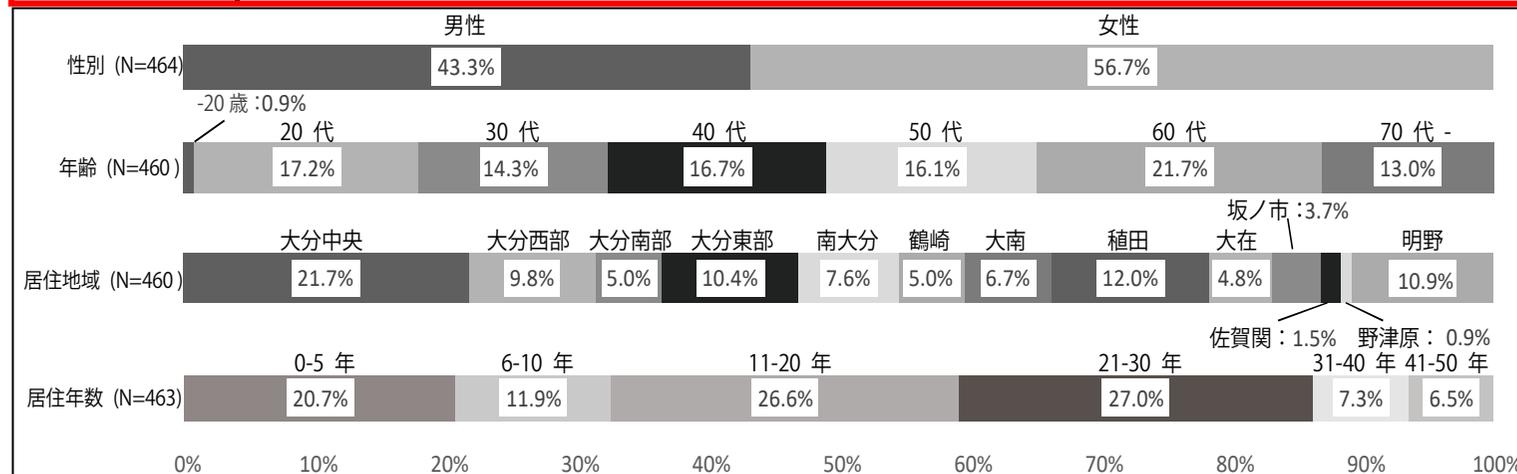


表5. 回答者属性と誇りに感じる景観の分析(カイ2乗検定)

	年齢	居住地域	性別	居住年数
誇りに感じる景観	1%有意 (p=0.65%)	0.1%有意 (p=0.03%)	5%有意 (p=3.81%)	有意差なし (p=40.27%)

誇りに思う景観と「年齢」「居住地域」「性別」の関係は統計的に有意なかでも、「居住地域」が最も誇りに思う景観との関連度が高い

第5章 他都市との比較による考察

5-2 別府市民の回答者属性と誇りに思う景観の関係の把握

表8. アンケート調査概要と回答者属性の集計結果

調査時期	1999年12月4日-12月14日	サンプル数	有効配布数560件中、有効回答数388件(回収率69.3%)
調査対象者	別府市民(住宅地図に基づく無作為抽出)	内容	別府市の景観に関する質問(全15問)
対象の質問項目	問15.別府市を特徴づけるものは何だと思えますか(あてはまるものを3つ以上)		

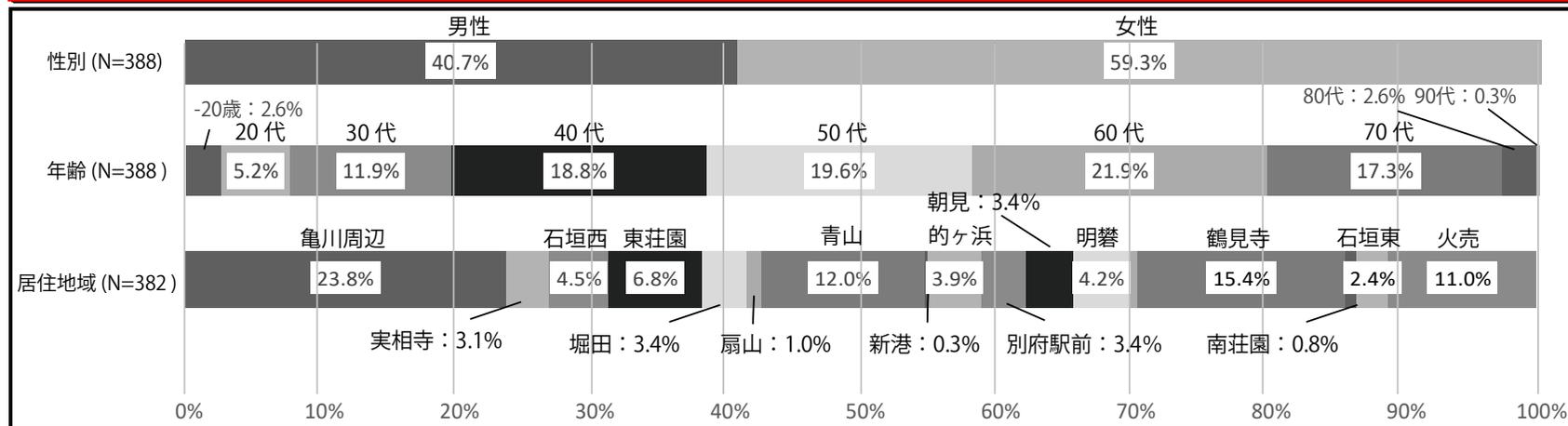


表9. 回答者属性と誇りに感じる景観の分析(カイ2乗検定)

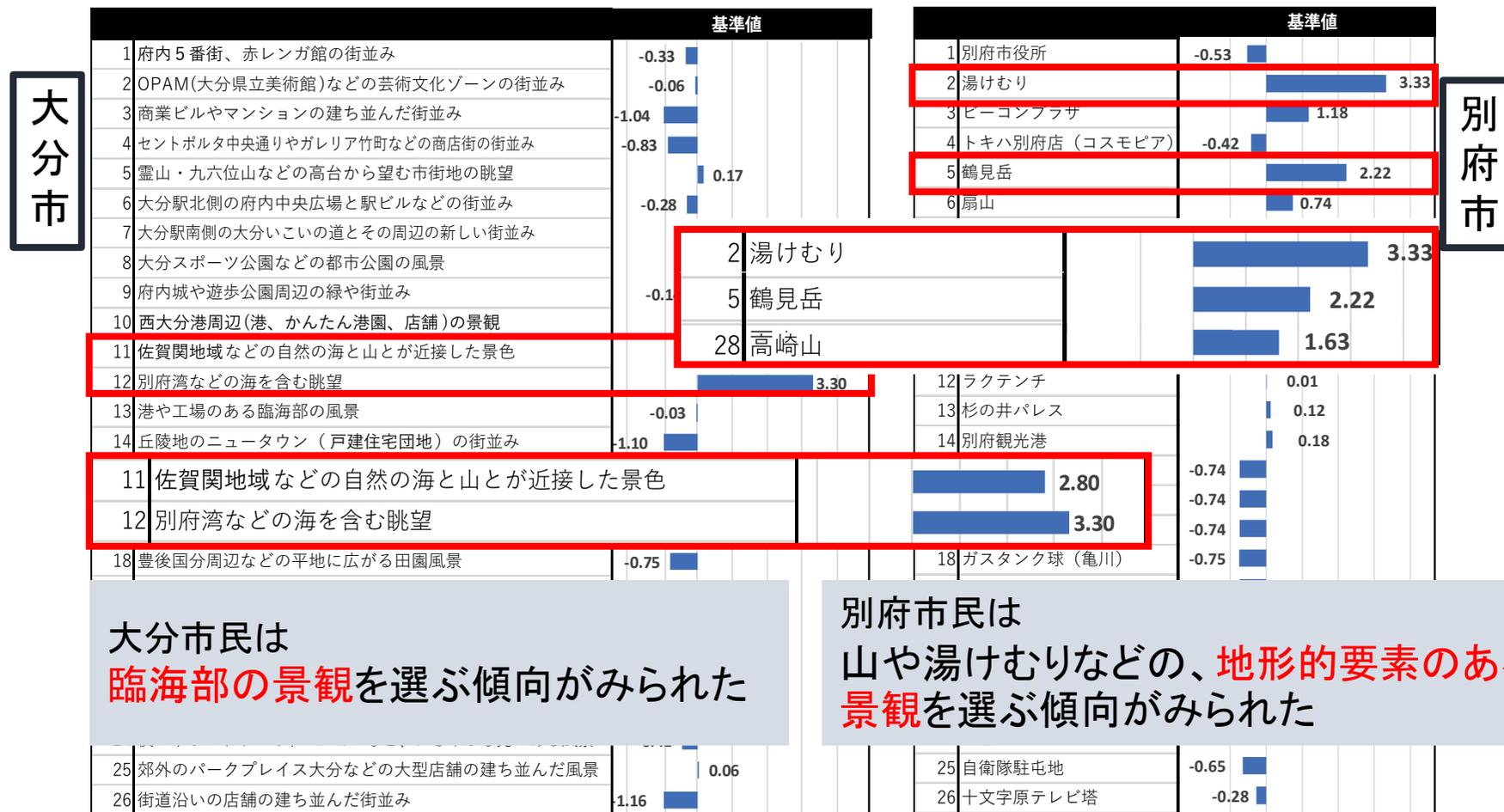
	年齢	居住地域	性別
別府市を特徴づける景観	有意差なし (p = 99.25%)	有意差なし (p = 97.65%)	有意差なし (p = 78.59%)

別府市民の誇りに(特徴づけると)思う景観と「年齢」「居住地域」「性別」の関連性はみられなかった

第5章 他都市との比較による考察

5-1 選ばれる景観の比較

表8. 別府市アンケート調査概要と誇りに思う(特徴づける)景観の基準値比較



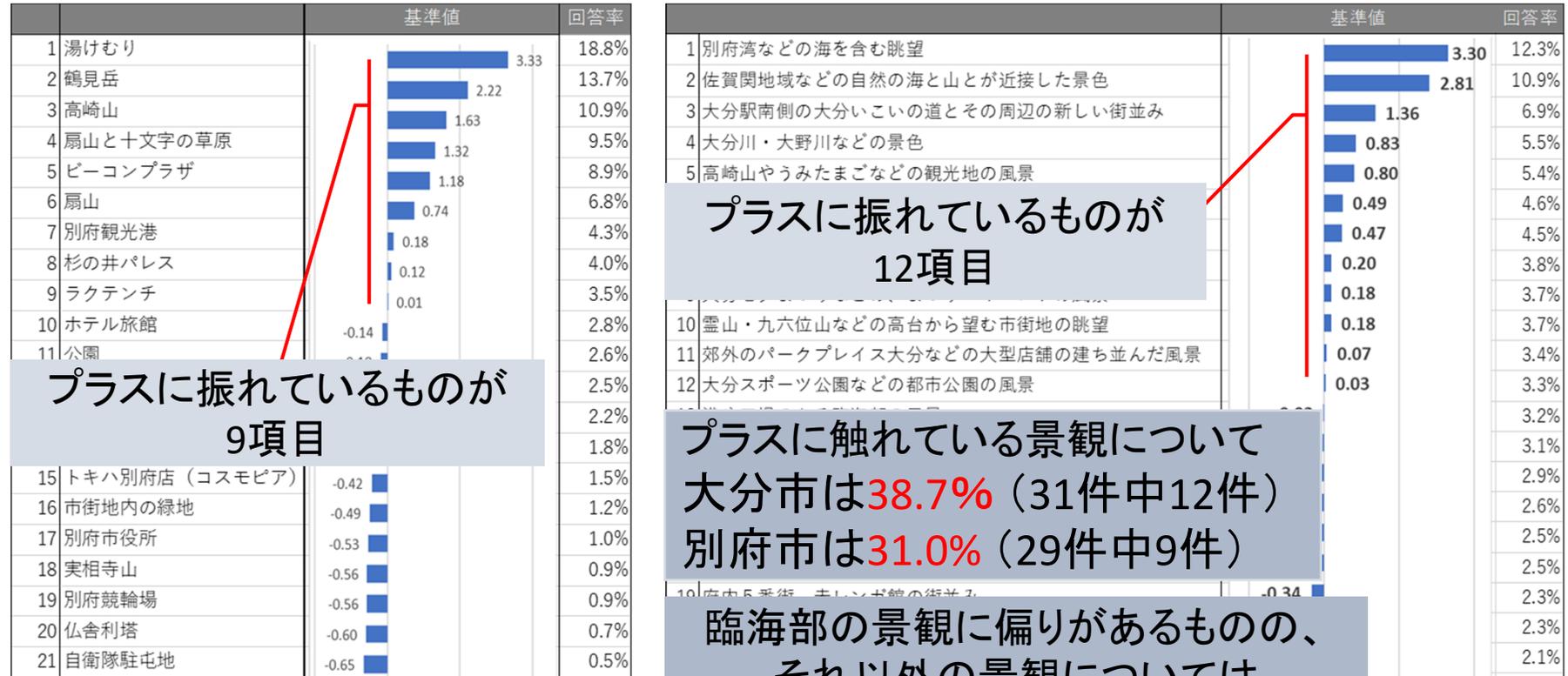
大分市民は
臨海部の景観を選ぶ傾向がみられた

別府市民は
山や湯けむりなどの、地形的要素のある
景観を選ぶ傾向がみられた

両市における誇りに思う(特徴づける)景観として、自然的景観要素が選ばれる傾向にある

第5章 他都市との比較による考察 5-1 選ばれる景観の比較

表10. 別府市と大分市の選ばれる景観の基準値比較



プラスに振れているものが
9項目

プラスに振れているものが
12項目

プラスに触れている景観について
大分市は**38.7%** (31件中12件)
別府市は**31.0%** (29件中9件)

臨海部の景観に偏りがあるものの、
それ以外の景観については

大分市は回答者属性により、選ばれる景観がばらついており、
別府市においてはどの市民からも同じような景観が選ばれている

回答数が偏っている

選ばれる景観が違つ

カイ2乗検定と以上のことから、大分市民が誇りに思う景観は多様であり、
これは、同市の**景観認知の多様性**を示している

別府市 (平均値) = 0.17, SD = 0.75 / 大分市 (平均値) = 0.17, SD = 0.75

第4章 住民が誇りとして認知する景観の傾向

4-2 年齢別にみる住民が誇りに思う景観の傾向

表6. 年齢別にみる大分市民が誇りに思う景観(N=2232)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1 府内5番街、赤レンガ館の街並み ①④⑦	5.4%	2.5%	2.1%	1.4%	1.0%	1.3%
2 OPAM(大分県立美術館)などの芸術文化ゾーンの街並み	3.3%	4.1%	4.0%	2.0%	2.9%	1.0%
10 西大分港周辺(港、かんたん港園、店舗)の景観 ③⑥	5.1%	4.7%	5.6%	5.1%	3.3%	3.0%
大分駅北側の府内中央広場と駅ビルなどの街並み ⑤⑥⑪	2.8%	3.8%	2.4%	1.7%	1.3%	3.0%
大分駅南側の大分いこいの道とその周辺の新しい街並み ④⑨⑫	4.9%	9.1%	7.2%	6.3%	7.7%	7.3%
大分スポーツ公園などの都市公園の風景	3.3%	2.5%	2.7%	4.8%	4.0%	2.7%
府内城や遊歩公園周辺の緑や街並み ⑤	2.8%	3.8%	2.1%	2.3%	3.1%	2.7%
西大分港周辺(港、かんたん港園、店舗)の景観 ③⑥	5.1%	4.7%	5.6%	5.1%	3.3%	3.0%
佐賀関地域などの自然の海と山とが近接した景色 ⑥⑦⑩	10.7%	9.4%	12.5%	10.8%	11.3%	10.3%
別府湾などの海を含む眺望 ⑨	12.0%	11.6%	12.5%	13.1%	12.1%	12.3%
20 大分川・大野川などの景色 ⑭⑰	4.3%	4.7%	4.0%	8.2%	6.3%	5.7%
23 明野などの、市街地の近くにある緑豊かな丘陵地	2.8%	1.9%	4.3%	6.0%	5.4%	7.3%
18 豊後国分周辺などの平地に広がる田園風景 ④⑨	0.5%	1.3%	1.6%	1.7%	0.8%	1.3%
19 野津原の棚田などの山あいの農村の風景 ④⑨	2.6%	1.9%	3.7%	1.7%	2.1%	2.7%
20 大分川・大野川などの景色 ⑭⑰	4.3%	4.7%	4.0%	8.2%	6.3%	5.7%
21 霊山・九六位山などの山野の景色 ⑪⑫⑬	1.8%	0.9%	1.6%	2.3%	4.2%	2.3%
22 大分市立美術館の立地する上野の丘の風景	2.8%	3.5%	4.0%	4.5%	4.4%	3.3%
7 大分駅南側の大分いこいの道とその周辺の新しい街並み ④⑨⑫	4.9%	9.1%	7.2%	6.3%	7.7%	7.3%
13 港や工場のある臨海部の風景 ⑧⑳㉑㉒㉓	3.8%	2.5%	3.2%	3.1%	2.7%	3.7%
28 大分七夕まつりなどの、まつり・イベントの風景	5.6%	4.4%	3.2%	2.0%	3.3%	3.3%

買い物等で利用するような地域の景観は、40代より低い市民が誇りに思う傾向がある

自然に関する景観は、50代以上の市民が誇りに思う傾向がある

50年以上前からある、「臨海工業地帯の景観」すべての世代で4%未満
2013年に完成した、「いこいの道広場」すべての年代で4%以上



このことから、市内に長くあるものが誇りに思う景観として認知されるとは限らない

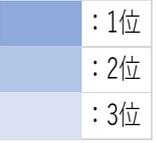
第4章 住民が誇りとして認知する景観の傾向

4-3 居住地域別にみる住民が誇りに思う景観の傾向

表7. 居住地域別にみる大分市民が誇りに思う景観 (N=2232)

赤太字：地区内に景観がある
黒太字：隣接する地区に景観がある

	大分中央	大分西部	大分南部	大分東部	南大分	鶴崎	大南	植田	大在	坂ノ市	佐賀関	野津原	明野
1 府内5番街、赤レンガ館の街並み ①(47)	3.5%	2.7%	5.4%	1.3%	0.6%	1.8%	0.0%	2.6%	0.9%	1.2%	8.3%	5.0%	1.3%
2 OPAM(大分県立美術館)などの芸術文化ゾーンの街並み	4.4%	3.6%	0.9%	3.9%	1.8%	3.7%	1.9%	3.3%	0.9%	2.3%	0.0%	0.0%	3.4%
3 商業ビルやマンションの建ち並んだ街並み ④⑥	0.8%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
4 セントポルタ中央通りやガレリア竹町などの商店街の街並み ④⑧	1.3%	0.4%	5.4%	0.9%	0.0%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%	2.8%	0.0%	0.4%
5 霊山・九六位山などの高台から望む市街地の眺望	3.1%	2.7%	2.7%	6.5%	3.6%	2.8%	2.6%	5.5%	0.9%	3.5%	5.6%	5.0%	3.8%
6 大分駅北側の府内中央広場と駅ビルなどの街並み ⑤⑤②	3.3%	1.8%	0.9%	3.0%	3.6%	2.8%	3.9%	1.1%	0.9%	1.2%	2.8%	0.0%	2.6%
7 大分駅南側の大分いこいの道とその周辺の新しい街並み ④⑨⑤①	8.1%	12.1%	7.2%	6.5%	6.5%	2.8%	5.2%	6.6%	7.4%	4.7%	2.8%	5.0%	5.1%
8 大分スポーツ公園などの都市公園の風景	3.3%	2.2%	1.8%	4.8%	0.6%	5.5%	4.5%	1.5%	2.8%	1.2%	5.6%	0.0%	6.8%
9 府内城や遊歩公園周辺の緑や街並み ⑤③	4.0%	3.1%	3.6%	1.3%	1.2%	2.8%	1.3%	3.0%	4.6%	4.7%	2.8%	5.0%	2.1%
10 西大分港周辺(港、かんたん港園、店舗)の景観 ③⑥	6.1%	6.3%	3.6%	3.9%	7.1%	4.6%	1.3%	4.1%	5.6%	2.3%	0.0%	5.0%	2.6%
11 佐賀関地域などの自然の海と山とが近接した景色 ⑥⑦⑩	10.6%	9.4%	9.9%	10.8%	10.7%	9.2%	11.0%	12.2%	14.8%	12.8%	16.7%	5.0%	10.3%
12 別府湾などの海を含む眺望 ⑨	10.9%	14.7%	10.8%	13.4%	13.1%	12.8%	9.0%	12.2%	12.0%	12.8%	8.3%	15.0%	14.1%
13 港や工場のある臨海部の風景 ⑧⑳㉑㉒㉓	2.9%	3.1%	1.8%	6.1%	3.0%	3.7%	0.6%	1.5%	3.7%	7.0%	2.8%	5.0%	3.4%
14 丘陵地のニュータウン(戸建住宅団地)の街並み ⑱⑲⑳	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
15 40m道路などの街路樹、沿道の緑地帯	1.0%	0.4%	0.0%	2.2%	1.8%	1.8%	0.6%	0.7%	4.6%	2.3%	0.0%	0.0%	1.7%
16 柞原神社と参道周辺の風景 ②	1.3%	2.7%	3.6%	1.3%	3.0%	2.8%	0.6%	2.2%	2.8%	2.3%	0.0%	0.0%	0.9%
17 戸次本町地区・高田輪中地区などの歴史を感じる街並み ⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖	1.5%	1.3%	4.5%	1.7%	3.6%	0.0%	7.1%	1.8%	2.8%	1.2%	0.0%	10.0%	4.3%
18 豊後国分周辺などの平地に広がる田園風景 ④④	0.6%	1.8%	3.6%	0.0%	2.4%	1.8%	1.3%	1.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.4%
19 野津原の棚田などの山あいの農村の風景 ④①	2.9%	2.7%	4.5%	2.2%	2.4%	1.8%	1.9%	2.2%	1.9%	3.5%	2.8%	15.0%	0.4%
20 大分川・大野川などの景色 ㉔㉗	5.4%	6.3%	5.4%	6.1%	4.8%	6.4%	8.4%	4.1%	5.6%	9.3%	0.0%	5.0%	3.8%
21 霊山・九六位山などの山野の景色 ⑪⑫⑬	1.3%	2.2%	0.9%	0.9%	2.4%	2.8%	3.2%	4.8%	3.7%	2.3%	2.8%	0.0%	2.1%
22 大分市立美術館の立地する上野の丘の風景	4.0%	4.5%	6.3%	3.9%	6.5%	4.6%	2.6%	2.2%	1.9%	4.7%	2.8%	0.0%	2.6%
23 明野などの、市街地の近くにある緑豊かな丘陵地	5.6%	2.7%	5.4%	4.3%	3.6%	2.8%	5.8%	4.4%	0.9%	1.2%	2.8%	0.0%	8.5%

各項目ごとの順位


 : 1位
 : 2位
 : 3位

選択肢内の景観要素が分布する地区の住民から、
多く選ばれている景観が10つ

市民が誇りに思う景観は、居住地域の近接性に影響を受けている

第6章 総括

第2章 KJ法による大分市の景観の分類

第3章 景観要素の分布傾向と景観形成の変遷を整理

第4章 大分市民が誇りとして認知する景観の傾向の把握

第5章 他都市との比較による誇りの形成要因の把握

大分市の景観の特徴

景観における
誇りの形成要因

第2章, 第3章 大分市の景観の特徴

- ① KJ法により、**16小グループ**に分類でき、
関係性の近さから、**7つのカテゴリー**に分けることができた
- ② 各カテゴリー間の相互関係をみると、
自然要素を基壇とし、そのうえで営まれる「生業」や「歴史」に関する景観が
あり、それらの景観間は**相互に関係している**ことがわかった
- ③ 大分市を13地区に分けてみると、各地区に分類された景観が**1種類以上分布**
しており、多様な景観が市域全体に広がっている
- ④ 1964年の新産業都市の指定された頃の**50年以上前から**新産業都市としての
特徴的な景観が存在することが確認できた

第6章 総括

第2章 KJ法による大分市の景観の分類

第3章 景観要素の分布傾向と景観形成の変遷を整理

第4章 大分市民が誇りとして認知する景観の傾向の把握

第5章 他都市との比較による誇りの形成要因の把握

大分市の景観の特徴

景観における
誇りの形成要因

第4章, 第5章 景観における誇りの形成要因

- ①「**居住地**」「**年齢**」「**性別**」と誇りに思う景観に関連性があり、特に「**居住地**」との**関連度が高い**ことが確認できた
- ②別府市ではどの回答者属性とも、誇りに思う景観との関連性はみられず、回答者属性によって、選ぶ景観に差がないことがわかった
- ③長い期間みられる景観が誇りに思う景観とは限らないことがわかった
- ④居住地が近い景観、つまり**身近な景観に誇りを持つ**傾向があることが明らかになった



このことから、大分市の景観の特徴として、**多様性**が確認でき、同市の景観における誇りの形成には、**景観要素と居住地の近接性**が影響していることが明らかになった